

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石塚 俊之
 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,393	4.7	345	12.0	339	13.0	205	23.1
26年3月期第3四半期	5,152	6.7	308	26.3	300	29.0	167	23.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 205百万円 (23.1%) 26年3月期第3四半期 167百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	42.65	41.86
26年3月期第3四半期	34.63	34.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,822	3,244	47.3
26年3月期	7,108	3,082	43.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,229百万円 26年3月期 3,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,003	7.2	493	3.0	480	0.8	298	10.1	61.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1 社 （社名） 株式会社東葛ボディーファクトリー 、 除外 — 社 （社名）
（注）詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	4,830,000 株	26年3月期	4,830,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,304 株	26年3月期	800 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	4,828,978 株	26年3月期3Q	4,829,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）におけるわが国の経済環境は、雇用関連が改善傾向にあり、設備投資、個人消費等にも持ち直しの動きがみられる等緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、昨秋以降に発売された新型車の販売は比較的堅調に推移したものの、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が長期化していることもあり、当第3四半期連結累計期間の国内新車販売台数は3,718,231台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比3.4%減）となりました。

車種別では、ハイブリッド車（フィットハイブリッド、アクア等）、軽自動車（N-BOX、タント等）、コンパクトカー（フィット、ノート等）が販売の上位を占めております。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、消費税引き上げに伴う反動減が長期化しておりますが、前期末に発生した売れ筋車種のリコール等による車両納期の長期化が改善されたこと等から販売台数は1,701台（前年同四半期比2.1%増）となりました。販売車種構成につきましても登録車の販売比率が前年同四半期に比べて増加したことから1台当たりの販売単価は上昇しました。また、手数料収入は減少したものの、整備業務を行うサービス売上は増加しました。その結果、売上高は43億68百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車部門からの下取車のほか、オークション等からの外部仕入も行い、引き続き販売車両の確保に注力しました。販売台数は1,531台（前年同四半期比2.3%減。内訳：小売台数702台（前年同四半期比1.7%減）、卸売台数829台（前年同四半期比2.8%減））となりましたが、比較的販売価格の高い小売台数の販売比率が前年同四半期に比べて増加したことから1台当たりの販売価格は上昇しました。また、整備業務を行うサービス売上、手数料収入は共に増加しました。その結果、売上高は9億53百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では、保険契約件数及び保険取扱手数料がともに減少したこと、钣金塗装事業は事業を立ち上げて間もないこともあり売上高は71百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は53億93百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は3億45百万円（前年同四半期比12.0%増）、経常利益は3億39百万円（前年同四半期比13.0%増）、四半期純利益は2億5百万円（前年同四半期比23.1%増）となり、いずれも前年同四半期比で増加となりました。これは、当社グループの主力事業である新車販売及び中古車販売の売上高が前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期末連結会計期間末の流動資産は39億9百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億32百万円減少いたしました。これは現金及び預金が41百万円、商品及び製品が57百万円それぞれ増加、受取手形及び売掛金が2億94百万円、その他の資産が1億37百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は29億13百万円となり、前連結会計年度末に比べて46百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が56百万円増加、投資その他の資産が9百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は68億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億85百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期末連結会計期間末の流動負債は31億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億10百万円減少いたしました。これは主に買掛金が58百万円、短期借入金が2億1百万円、賞与引当金が23百万円、未払法人税等が1億4百万円、その他の負債が15百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は4億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて37百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が41百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は35億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億47百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期末連結会計期間末の純資産合計は32億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億61百万円増加いたしました。これは主に四半期利益2億5百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は47.3%（前連結会計年度末は43.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し、当四半期連結会計期間末には12億69百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は3億88百万円（前年同四半期は1億26百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益3億39百万円から主に減価償却費86百万円、賞与引当金の減少額23百万円、売上債権の減少額2億45百万円、たな卸資産の増加額1億36百万円、仕入債務の減少額58百万円、その他の資産の減少額1億18百万円、その他の負債の増加額37百万円及び法人税等の支払額2億19百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は52百万円（前年同四半期は1億1百万円の使用）となりました。これは固定資産の取得による支出63百万円、貸付金の回収による収入8百万円及び差入保証金の回収による収入2百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は2億94百万円（前年同四半期は1億56百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出2億49百万円、配当金の支払による支出48百万円及び新株予約権の発行による収入4百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、これまでのところ概ね計画通り推移しており、平成26年5月9日の「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、株式会社東葛ボディーファクトリーを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,228,020	1,269,646
受取手形及び売掛金	2,476,584	2,182,335
商品及び製品	282,436	340,184
その他	254,131	116,921
流動資産合計	4,241,172	3,909,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	508,512	483,166
機械装置及び運搬具（純額）	158,122	191,172
土地	1,935,816	1,985,328
その他（純額）	4,502	3,358
有形固定資産合計	2,606,954	2,663,025
無形固定資産	1,674	1,081
投資その他の資産	258,441	249,419
固定資産合計	2,867,069	2,913,526
資産合計	7,108,242	6,822,613
負債の部		
流動負債		
買掛金	516,696	458,506
短期借入金	2,489,225	2,287,619
1年内返済予定の長期借入金	64,284	57,184
未払法人税等	123,042	18,394
賞与引当金	43,189	19,481
その他	307,867	292,861
流動負債合計	3,544,306	3,134,048
固定負債		
長期借入金	232,771	191,658
その他	248,897	252,869
固定負債合計	481,668	444,527
負債合計	4,025,974	3,578,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,300	210,300
資本剰余金	199,711	199,711
利益剰余金	2,662,407	2,820,106
自己株式	△325	△533
株主資本合計	3,072,093	3,229,584
新株予約権	10,174	14,454
純資産合計	3,082,267	3,244,038
負債純資産合計	7,108,242	6,822,613

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
売上高	5,152,009	5,393,792
売上原価	3,896,083	4,115,371
売上総利益	1,255,925	1,278,421
販売費及び一般管理費	947,649	933,263
営業利益	308,276	345,157
営業外収益		
受取利息	1,417	1,299
受取手数料	2,558	4,166
その他	2,712	2,944
営業外収益合計	6,688	8,410
営業外費用		
支払利息	14,854	14,322
営業外費用合計	14,854	14,322
経常利益	300,110	339,245
特別利益		
固定資産売却益	1,509	—
特別利益合計	1,509	—
特別損失		
固定資産処分損	5,766	109
賃貸借契約解約損	12,000	—
特別損失合計	17,766	109
税金等調整前四半期純利益	283,852	339,136
法人税等	116,578	133,144
少数株主損益調整前四半期純利益	167,274	205,991
四半期純利益	167,274	205,991

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	167,274	205,991
四半期包括利益	167,274	205,991
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,274	205,991
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	283,852	339,136
減価償却費	70,955	86,857
賞与引当金の増減額（△は減少）	△25,224	△23,707
受取利息及び受取配当金	△1,417	△1,299
支払利息	14,854	14,322
固定資産処分損益（△は益）	5,766	109
売上債権の増減額（△は増加）	112,938	245,632
たな卸資産の増減額（△は増加）	△119,447	△136,550
仕入債務の増減額（△は減少）	△44,786	△58,190
その他の資産の増減額（△は増加）	△20,404	118,288
その他の負債の増減額（△は減少）	1,678	37,270
小計	278,766	621,869
利息及び配当金の受取額	27	27
利息の支払額	△14,836	△14,372
法人税等の支払額	△137,555	△219,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,402	388,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△241,082	△63,303
有形固定資産の売却による収入	129,561	—
貸付金の回収による収入	8,046	8,046
差入保証金の差入による支出	△33	△70
差入保証金の回収による収入	2,388	2,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,119	△52,827
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△93,187	△201,606
長期借入金の返済による支出	△19,044	△48,213
配当金の支払額	△48,292	△48,292
自己株式の取得による支出	—	△208
新株予約権の発行による収入	3,936	4,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,587	△294,039
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△131,304	41,626
現金及び現金同等物の期首残高	1,134,108	1,228,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,002,803	1,269,646

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 （注）	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,165,869	907,511	5,073,380	78,628	5,152,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	219,095	—	219,095	—	219,095
計	4,384,964	907,511	5,292,475	78,628	5,371,104
セグメント利益	300,114	100,461	400,576	13,453	414,030

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	400,576
「その他」の区分の利益	13,453
全社費用（注）	△105,753
四半期連結損益計算書の営業利益	308,276

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,368,544	953,361	5,321,905	71,887	5,393,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	263,205	—	263,205	21,973	285,178
計	4,631,749	953,361	5,585,110	93,860	5,678,971
セグメント利益	336,725	105,352	442,077	10,011	452,088

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	442,077
「その他」の区分の利益	10,011
全社費用（注）	△106,931
四半期連結損益計算書の営業利益	345,157

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。